

青森県日本海沖合のハタハタ分布調査結果について

(地独) 青森県産業技術センター水産総合研究所

2019年4月-6月の各月に青森県日本海の十三沖、高山沖、出来島沖の水深100m-300mに設定した各調査点で、試験船青鵬丸(65トン)によりオッタートロール海底曳を行い、ハタハタの分布密度を調査しましたので、その結果をお知らせします。

0歳魚は5月-6月に分布が見られ、密度の最高値は5月の8.85個体/1,000㎡で、前年を下回り、2010年以降では10ヶ年中8番目の高さでした。

1歳魚は4月-6月を通じて分布し、密度の最高値は4月の147.2個体/1,000㎡で、前年を上回り、2010年以降では10ヶ年中4番目の高さでした。

今後は、今回の調査結果と、昨冬の本県沿岸における年齢別の漁獲状況を併せて今冬の来遊資源の多寡や年齢構成を予測し、予測結果をホームページでお知らせする予定です。

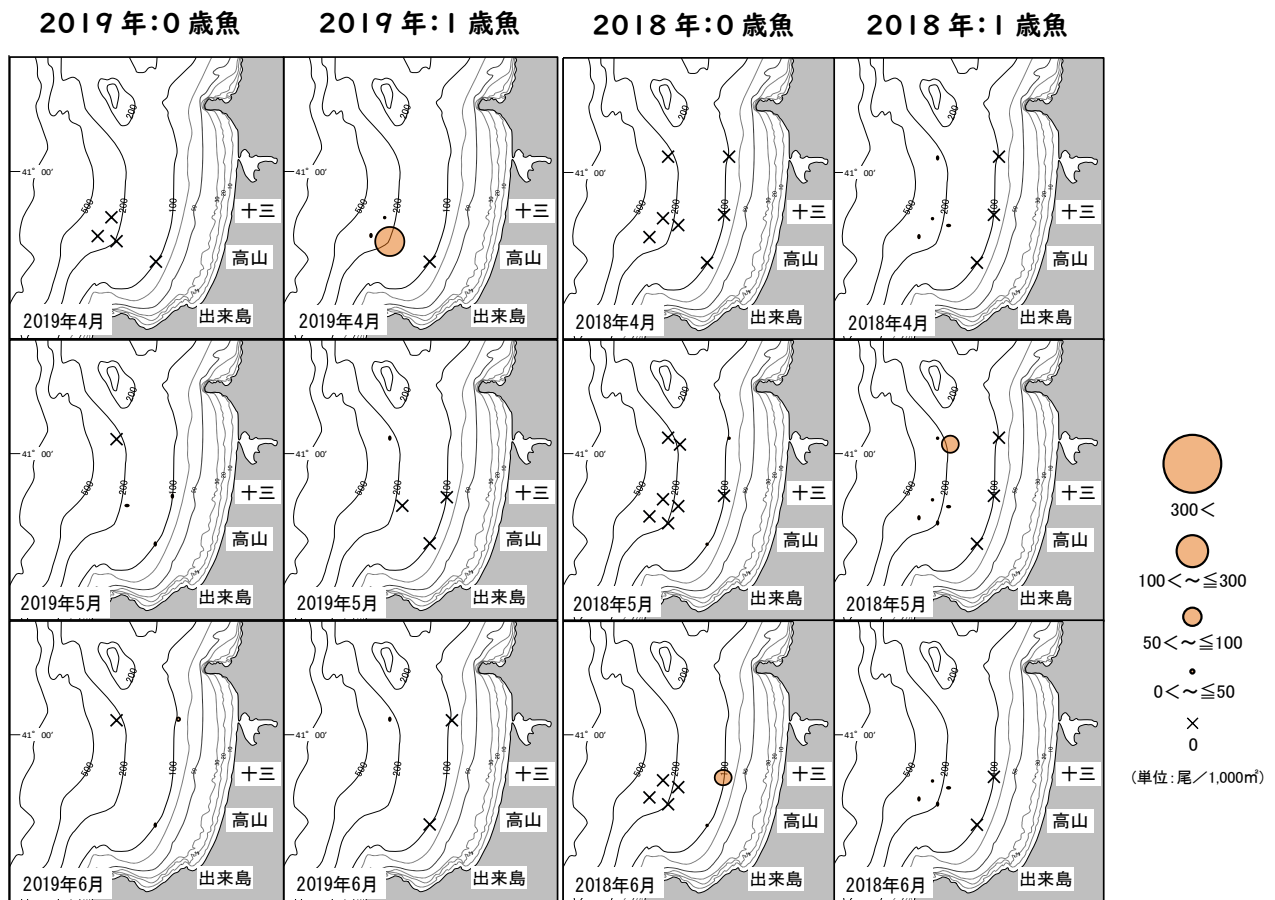


図 オッタートロール海底曳によるハタハタ分布密度